横浜市立奈良中学校　学校だより

ならの木

10月号

令和５年 10 月 30 日

学校長　　山根　淳

https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/nara/

歌の花束

合唱コンクール担当教諭　吉川　和希

１０月１３日（金）にやまと芸術文化ホールにおいて、合唱コンクールを開催することができました。今年度もホールの広さの観点から、保護者の皆さまの参観は学年ごとの入替制にさせていただきました。保護者の皆様、PTA の皆様、ご理解とご協力いただき、本当にありがとうございました。

奈良中の生徒の皆さんは、どの学年も練習のときから合唱に対しての意欲と熱気が凄く、本番でも素晴らしいパフォーマンスを披露してくれました。１年生は初々しさもありながら元気で明るい合唱を、２年生は昨年の反省をふまえた決意ある合唱を、そして３年生は奈良中を引っ張る力強さと、未来に向けた想いを乗せた合唱を。奈良中の皆さんの素晴らしい合唱に近くで触れることができ、とても嬉しく思います。

また、今年度の合唱コンクールは午後開催に加え、吹奏楽部の演奏、職員の合唱をプログラムに加えました。吹奏楽部の場を湧かすパフォーマンスに会場は大盛り上がりでした。

今年のスローガンである「歌でつながる ひとつの心♪ ～歌の花束を贈ろう～」、そのスローガンのように各クラスが歌でつながり、各クラスの想いを乗せた沢山の歌の花束を贈ることができたと感じています。思ったこと、感じたことを一つずつ大切にし、“大人の階段”を一段ずつ上って欲しいと思います。

【合唱コンクール入賞】

１年	最優秀賞	１組「COSMOS」
	優 秀 賞	４組「夢の世界を」
２年	最優秀賞	１組「ヒカリ」
	優 秀 賞	５組「結」
３年	最優秀賞	１組「あなたへ」
	優 秀 賞	５組「虹」

合唱コンクールを終えて

音楽科教諭　横山　美郷

今年もやまと芸術文化ホールをお借りして、合唱コンクールを開催することができました。いつもと違う緊張感の中、自分の全力で臨む舞台というものを皆さんには経験してほしい。この経験から自分自身とクラスの成長を実感できる行事にしてほしい。そんな思いで私もコンクール当日を迎えました。

１年生にとっては、初めての合唱コンクールでしたが、とても堂々とした態度で、明るく勢いのある歌声を聴かせてくれました。練習のときからパートで話し合って進める姿や、指揮者中心に自分たちで合唱を作っていこうとする姿が見られるクラスもありました。今後の成長が大変楽しみです。

２年生は、昨年度よりも難易度が高い曲をどのクラスもチャレンジしてくれましたね。昨年度の経験を活かし、自分たちで工夫してパート練習や発声練習をする姿に、成長を感じました。「ここぞ！」というときに高い集中力とパワーを発揮できるのがみなさんの強みです。そんな姿を見せてもらえた合唱でした。

そして３年生、最後の合唱コンクールということもあり、練習開始から本番まで本当によく練習しましたね。どのクラスもこの短期間で仕上げるには難しい曲だったと思いますが、合唱の基本である音取りを個人やパートでしっかり取り組んだからこそ作れたハーモニーでした。曲の中から作曲者の思いをくみ取り、自分たちなりの想いをそこに乗せ、歌う。そんな最高学年に相応しい心のこもった合唱でした。それぞれ作り上げたクラス曲が今後のみなさんの人生に寄り添ってくれる１曲になり、この頑張りがみなさんの今後の糧になることを願っています。

今年も皆さんの歌声からたくさんのエネルギーを頂きました。本当にありがとうございました。

合唱コンクール実行委員

吹奏楽部

令和５年度　全国学力・学習状況調査結果のお知らせ

令和５年４月に中学校３年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査結果の概要をお知らせします。今回の調査は国語・数学・英語の３教科でした。なお、生徒の個票については、既に配付しております。

《教科別学習状況調査結果》

平均正答率（%）

	国　語	数　学	英　語
本校	75.0	59.0	60.0
神奈川県	70.0	52.0	50.0
全国	69.8	51.0	45.6

《国語の考察》

ほとんどの観点で、神奈川県及び全国の平均を上回る正答率であったが、「インターネットの記事を読んで気付いた点として適切なものを選択する」と、「歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す」の２点においてのみ下回る結果となった。

文章を読んでその主旨を理解する学習は授業の中で日常的に行っているが、今後はさらにグループワーク等を多く取り入れ、主体的に「読み込む」力をつける学習を進めていきたい。また、古典の学習を苦手にしている生徒が多いので、歴史的仮名遣いを含め、古典の文章に慣れることを目標に、生徒の実態を踏まえた授業計画を進めていきたいと考えている。

《数学の考察》

すべての観点において、神奈川県及び全国の平均を７％程度上回る正答率であった。また、A：式と計算、B：図形、C：関数、D：データの活用という４領域別の集計においても神奈川県や全国の平均を上回る正答率となった。特にＡとＣの領域では 60%を超える正答率であり、理解を深めている生徒が多いことがわかる。

図形とデータの活用については、神奈川県や全国の正答率も低く、問題のレベルが高かったが、図形の問題については全国平均よりも 10%以上高い正答率であった。データの活用については、全国平均と変わらない正答率であり、資料を活用した分析に課題があることがわかる。数学は既習の内容をいかに活用して課題解決につなげていくかが大切なので、日々の学習の中で振り返りをしつつ、理解を深めることができるようにしていきたい。

《英語の考察》

すべての観点において、神奈川県及び全国の平均を上回る正答率であった。しかし、思考・判断・表現の問題において、「聞くこと」、「書くこと」ともに 50%を下回る正答率の問題があった。一つは「日常的な話題について必要な情報を聞き取る」問題、もう一つは「社会的な話題について、自分の意見とその理由を書く」問題である。特に後者に関しては 30%程度の正答率となっている。

今後は、教科書の本文のみならず、日常的な話題、時事を含む社会的な話題にも対応した学習を心がけたい。あわせて、そのテーマに沿った自分の考えや理由を表現するような経験を増やしていきたい。

【部活動等の記録】

バレーボール

横浜市秋季大会

２日目進出

（ベスト３２以上確定）

ソフトテニス

横浜市大会　個人戦

男子　ペア

女子　ペア

ベスト３２　県大会出場

バスケットボール

横浜市新人大会　北部ブロック大会

男子　●奈良４０-７０荏田南○

女子　○奈良７５-１１都田●

●奈良３５-５６高田○

個別支援学級

第６２回横浜市立中学校・義務教育学校個別支援学級 合同体育祭　１０月１９日

走り幅跳び　２年女子の部　第１位　　３m５０cm

陸上競技

横浜市中学校総合体育大会　駅伝の部（海の公園周回コース・八景島）１０月１４日

女子の部　第１３位　５０分０９秒

一区	（3.000km	１１分０８秒	区間　６位）
二区	（2.030km	７分１６秒	区間　２位）
三区	（2.030km	８分１６秒	区間１６位）
四区	（2.030km	８分５９秒	区間３３位）
五区	（3.390km	１４分１６秒	区間３７位）

男子の部　第３６位　１時間１４分１３秒

一区	（3.000km	１０分１９秒	区間２３位）
二区	（3.390km	１２分０５秒	区間３８位）
三区	（3.390km	１１分２５秒	区間　９位）
四区	（3.390km	１３分３１秒	区間５８位）
五区	（3.390km	１４分１１秒	区間６３位）
六区	（3.390km	１２分４２秒	区間３３位）

横浜市中学校秋季陸上競技大会（三ツ沢公園・陸上競技場）１０月２８日

男子１年１５００m	４分４２秒０４	第４位
共通　走幅跳	５m５６	第７位

～健康観察のお願い～

市内においてインフルエンザ／新型コロナウイルス感染症の発生が確認されています。御家庭におかれましては、引き続き次のことに御協力をお願いいたします。

1　健康観察を行い、発熱、せき、咽頭痛、鼻水、倦怠感、下痢・嘔吐等体調不良の場合は、無理に登校させず、十分休養をさせてください。

2　体調不良での欠席の際、発熱状況等を連絡してください。

3　基礎疾患（ぜんそくなどの呼吸器疾患、慢性心疾患、糖尿病、腎臓病など）があり、体調不良がある場合は、早目に医療機関を受診してください。

4　ふだんからせっけんを用いたていねいな手洗い、うがいを行い、せきが出る場合はマスクを着用するなどの「せきエチケット」をお願いいたします。

5　免疫力を高めるためにも早寝、早起き、バランスのよい食事など規則正しい生活を心がけてください。

6　**出席停止の取扱いについて**

インフルエンザは、「発症日を０日目として５日経過し、かつ、解熱したあと２日経過するまで」、新型コロナウイルス感染症は、「発症日を０日目として５日経過し、かつ、症状軽快後１日経過するまで」の期間を出席停止とします。

※新型コロナウイルス感染症については、出席停止解除後、発症から 10 日を経過するまでは、当該生徒に対してマスクの着用を推奨します。